

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		夏休みスペシャルおはなし会実施事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名 西川 正則
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名 森田 由貴恵
	基本事業	68	学習やスポーツへの参加機会の提供			所属班	図書館班	(内線) 2512
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : 7 コスト削減優先度評価結果 : 6
		1	10	5	8	10805		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H15 年度) 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市内の小中学生からボランティアを募り、図書館職員と一緒に小さい子どもたちへの読み聞かせを行う。夏休み期間中に実施。 平成15年度より、図書館利用率の低い中学生を対象とした事業はなにか出来ないかと考え開始した。 積極的にボランティアに参加希望する子は少ないものの、一度体験すると楽しかったという子が多い。徐々に夏休みのイベントとして認知度が上がってきている。
【業務の流れ】	市内の小中学生からボランティアを募り、図書館職員の担当を決める。小中学生に指導しながらおはなし会の会場準備・市民への周知をする。
【主な予算費目】	報酬、報償費、需用費(消耗品費)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	おはなしに語りとして参加した子ども、観客として参加した方々も概ね、楽しかったとの意見だった。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
西合志南中学校から5名集まり、ペープサート・影絵・ブラックパネルシアターなどを行った。	8月20日実施予定
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⇒ ア 開催回数 回 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
ボランティアについては市内の小学校上級生及び中学生 おはなし会参加者は図書館利用の小学生以下の子ども及びその保護者	⇒ ア 市内小学生数 人 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
小さな子どもたちへの読み聞かせを体験する。 おはなし会の楽しさを感じ、創造性を養う	⇒ ア おはなし会ボランティア参加者数 人 イ おはなし会に参加した人数 人
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 H21年度の成果指数(実績)より、ボランティアの人数、おはなし会に参加した人数は適切であった。H22年度の目標指数値設定の根拠は、実績の規模が、ボランティア1人当たり15名の参加人数であったので、ボランティア人数を最大でも5人とし、おはなし会に参加した人数15人をボランティア人数に乘じた数を設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	
	イ								
⑤ 対象指標	ア	人	3391	3538	3500	5262	3500	3500	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	人	11	5	7	4	5	5	
	イ	人	70	79	80	56	75	80	
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円					3	
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	11	0	6	4	7	6
	(A) 事業費計	千円	11	0	6	4	10	6	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	20	20	20	110	20	20	
	(B)人件費計	千円	79	80	80	438	80	80	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	90	80	86	442	90	86	0

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0
0

事務事業名	夏休みスペシャルおはなし会実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

計画的に準備したこと、ボランティア参加してくれた児童が意欲的であった為、完成度の高いおはなし会を行うことが出来た。今後も、担当職員の資質を向上し、児童・生徒に的確な指導をすることで、より良いおはなし会を作り上げて行きたい。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

### (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

ボランティア希望者数に毎年ムラがある。学校司書と連携をとりながら、児童生徒に関心を持ってもらえるよう工夫したい。